

本堀 雄二 展

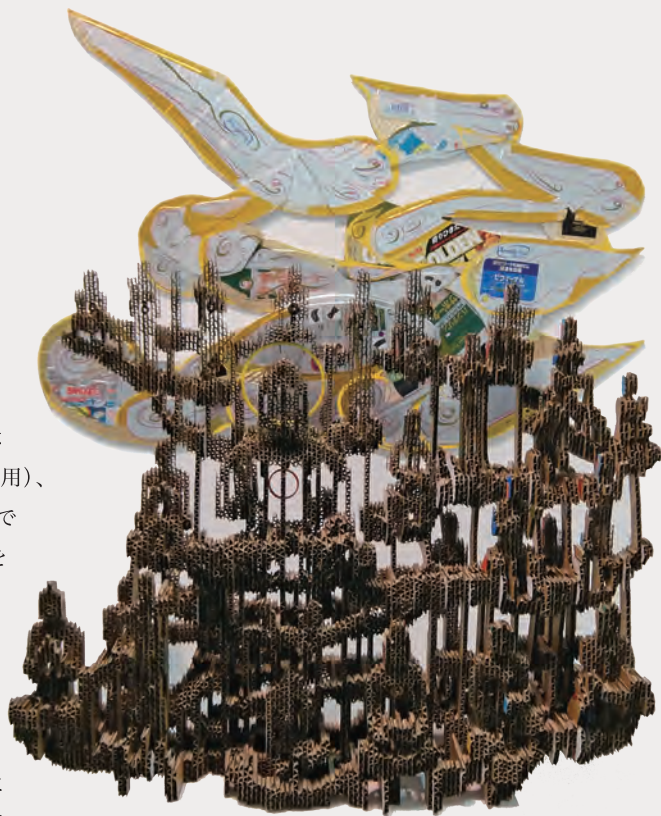
JOUDO

再生を重ねてきた古紙である段ボールの 輪廻転生から解脱した姿
捨てる紙あれば拾う神あり

近年、人々の生活は豊かになり物が溢れる時代になった。豊かさを求めるあまり自然破壊や環境汚染など多くの問題を抱えるようになった。いつの間にか私たちはその行いに麻痺してしまったように思える。リデュース(再生抑制)、リユース(再使用)、リサイクル(再生利用)という言葉を目にする機会が多くなってきた。それは世界中で自然環境保護の意識が高まった証でもある。アートの世界も同じであり環境問題を題材にした作品が多くある。今回紹介する本堀氏もその一人だ。

本堀氏は長年、木の廃材の内から木の魂をぬき出すように制作に打ち込んでいた。しかし、阪神淡路大震災時に倒木が人々を害するのを目の当たりにして暫くは木を使うことから離れていた。色々な素材で制作を試みていたが、寺社の建築端材を手に入れたことにより厨子の様な作品を制作することになる。これを機に納めるための仏像を制作することになる。以前は、木に向かい形を割り出すことで内なるものを見出そうとしていたが、段ボールを使うことにより隙間から見える光がまるで後光が射しているように見えた。内なるものから光が射し込むように想えた。

使用済みの段ボールで出来た仏像は人の営みを感じ、まるで仏像に抱かれているように見える。タイトルは「JOUDO」～捨てる紙あれば拾う神あり～とユニークなタイトルではあるがアーティストとして環境問題を捉え自らの表現で人々に伝えているように想える。



「amida 来 go」



本堀 雄二 Honbori Yuji

1958 神戸生まれ
1983 愛知県立芸術大学彫刻専攻大学院修了

個展

- 2010 INAX ギャラリー 東京
ギャラリー白 大阪
BUTSU 鎌倉 長谷寺
- 2011 アートフェア東京 NANZUKA 東京
ギャラリー白
BUTSU 鎌倉 長谷寺
- 2013 風神雷神 NANZUKA
- 2014 AISHONANZUKA 香港
- 2017 薬師堂 NANZUKA
- 2018 Passion みほとけ Gallery Yamaki Fine Art 神戸

グループ展

- 2009 神戸ビエンナーレ 2009
- 2011 シャッフル 白金アートコンプレックス NANZUKA
神戸ビエンナーレ 高架下
- 2012 シャッフル2 アートフェア 東京
- 2014 PRUDENTIAL EYE AWARDS シンガポール
- 2019 太郎賞

2019.7/1 [月] - 9/16 [月祝]

主催 富士市 主管 一般社団法人富士芸術村

| 開館時間 | 9:00 - 19:00

| 休館日 | 7/8 [月]・7/9 [火]・8/19 [月] - 22 [木]・9/9 [月] *ロゼシアター休館日を休館

| 観覧料 | 無料

特別講座

アーティストトーク

7/15 [月祝] 10:00 - 11:00 *申込不要

ふじ・紙のアートミュージアムは、紙を素材とした芸術作品を展示します。そして、「つなげる・つながる」をテーマに芸術文化活動をしていきます。当ミュージアムが拠点となり、富士市全体がミュージアムになることを願っています。
2016年11月1日開館

- 交通 東名富士インターチェンジより約2.3km、国道1号より約2.2km、新富士駅より約2.2km、富士駅より約2.6km
バスの場合はJR富士駅(北口バス停)から15分「ロゼシアター入口」下車 徒歩2分 新幹線JR新富士駅(北口バス停)から15分「ロゼシアター前」下車
*発車駅によって到着するバス停が異なりますのでお降りの際はご注意ください。
- 駐車場 富士市文化会館ロゼシアターの駐車場をご利用ください。
*ロゼシアター開催の公演により混雑する場合があります。



ふじ・紙のアートミュージアム
Fuji Paper Art Museum

〒416-0953 静岡県富士市藤原町1750番地 富士市文化会館 ロゼシアター1階
TEL 0545-32-6581 FAX 0545-32-6582 <http://www.fuji-paperart.jp>